

## 学生支援活動の体系化と展開～留学生センター相談室活動報告

田中京子・柴垣史

### 1. はじめに

2010年度は、昨年度体系化しながら発展させた活動を、より充実させて展開した一年であった。複数の資金助成を受け、またスタッフが役割を分担しながら活動し、実現できたことである。多様なプログラムを企画運営し発展させるために、多忙を極めた一年とも言える。

一方、年度末3月11日に発生した東日本大震災やそこから派生した原子力発電所事故等の事態は、国際教育交流にも大きな影響を及ぼした。今後、全学・全国レベルでの留学生受け入れに長期にわたって関与するできごとである。国際教育交流の意味やその長期的貢献について再検討しながら、最善の方法を探って進めていきたい。

### 2. オリエンテーション：

#### 情報提供、信頼関係構築、交流促進

留学生の渡日前から修了後にいたるまでの参加型、交流型、日本語・英語併用オリエンテーションを継続・充実させた。

#### (1) 渡日前オリエンテーション（留学生センター所属学生対象）

例年と同様、柴垣が事務室と協力して「入学前ガイドブック」を入学予定の学生たちに送付し、ホームページ上にも掲載した。留学生センターに所属する学生たちには、渡日前からスタッフや学生たちと交流して信頼関係を築いていけるよう、渡日前情報誌を作成しメール送信および郵送した。在学中の留学生や修了生が情報提供者として登録したため、新入生・スタッフ・先輩学生たちが連携体制をとることができた。新入生の空港への迎えの有無は各受け入れ部局の判断に任されており、留学生センターの

新入生については、研修後他大学で専門研究を行う日本語研修生、および日本語・日本文化研修生に対して、空港迎えの希望を聞いた。希望する学生には、チューターや先輩留学生たちの協力を得て迎えを行った。

#### (2) 到着後オリエンテーション（留学生センター所属学生対象）

例年と同様、事務室と柴垣が中心となって、4月と10月に数回に分けて行なった。事務室、相談室、日本語教育部門の連携により順調に行なえた。

#### (3) ワークショップ型オリエンテーション（全学学生対象）

今年度後期も留学生支援事業として予算がついた。「日本の伝統文化」「日本の生活」「世界の言語文化」という大きな枠を設けて様々な講座を提供した。数年続けてきた華道講座では、教養教育院のプロジェクトギャラリー「clas」を会場に、華道展とワークショップを実施することができた。

他部局と連携してセッションを企画・運営したり、学生ボランティアグループや文化サークルが主体的に企画・運営・実施するセッションに協力したりして、日本と世界の言語・文化を多角的に学ぶ機会を提供することができた。

#### ワークショップの実施と内容（添付資料1、2参照）

##### 【日本の伝統文化】

これまで継続し発展させてきた日本の伝統文化ワークショップを、今年度は一部、基礎セミナー「英語で



「着物」着付け



「日本舞踊」実習



「書道」参加者の作品

学ぶ日本の文化」として授業化し、ワークショップと授業を連携講座として開催した。開催日時を、授業時間である前期木曜5時限目に合わせたところ、留学生にとって出席しやすいようで、参加希望者がこれまでより多くなった。前期授業の最後は、学生たちによる日本文化紹介講座として公開し、ワークショップの一環とした。後期は日も短く寒くなるため、これまでと同様に4時限目の開催とした。

昨年度の年報に記したように、教養教育院のプロジェクトギャラリー「clas」が、展示会やワークショップに格好の空間であることがわかったため、このギャラリーで催しを行いたいと考えており、今年度それを実現させることができた。

〈名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」アニュアル2010, p70より〉

#### 華道展を通じた多文化との出会い

柴 垣 史

(名古屋大学留学生センター相談室 アドバイザー)

本学留学生センターでは、華道八代流の協力により数年前から華道講座を続けており、多文化背景を持つ受講者が講座で出会い、自己表現を楽しんでいます。彼らの作品を講座内でとどめておくのは惜しいと思うようになり、講座の新たな挑戦として本展を企画しました。単なる視覚的な作品発表展ではなく、「多文化との出会い」を主題に、「自然からのいただきものを繰り返し楽しむ」を副主題とし、学内野外観察園の協力を得て、園内で植物や、植物の文化的背景を知ることから活動を始めました。同園で頂いた植物を一部使い、ギャラリーにて生けた華道作品は、家族・国・宇宙・時代・情感などを表す題名が付けられましたが、まずは鑑賞者が作品から自由に想像してもらえるよう、敢えて題名を伏せておきました。植物が鑑賞に堪え得るよう、時間で劣化するものを新たな材料でアレンジする予定でしたが、手を加え過ぎず、植物の姿・香りの変化も作品の味わいとして鑑賞して頂くこととなりました。

本展の参加者の多くは、日本を含む複数の国籍の学生でした。彼らと、鑑賞者、本展に関わった華道講師、学内スタッフは、国籍だけでなく、生活や活動の場、趣味、年齢などで生じる様々な文化を持ち合せている人々です。作品展の一連の活動や、作品鑑賞を通じて新たに感じたこと、発見したことが、彼らにとっての

新しい文化との出会いであり、本展が、より多くの人にとって、新たな文化と出会うきっかけになったとしたら幸いです。



学内の観察園で枝や実を採集→学内ギャラリーで生け花

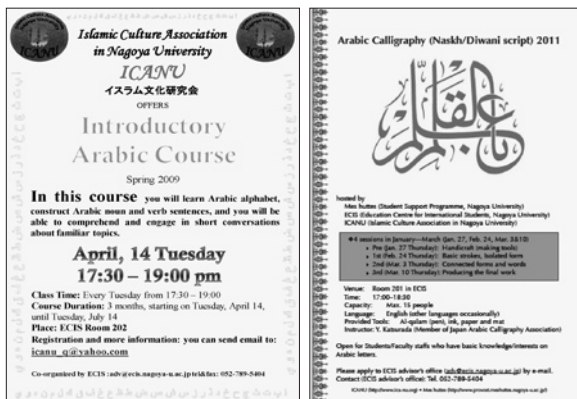
#### 【日本の生活】

- ・地震：今年度も環境学研究科との共同主催により、名古屋に住む外国人留学生、研究者のための地震防災研修会として初級レベルの講習を行なった。同研究科山岡耕春教授と国際交流協力推進本部山口博史講師と共に、昨年度に引き続き防災研修開発のプロジェクト(総長裁量経費)を進めており、当プロジェクトとの連携で名古屋市港防災センターへの訪問も2回行った。
- ・生活安全：千種警察署の協力指導により、事故防止と防犯に対する知識を高めるセッションを行った。
- ・引っ越し：例年のように、国際交流会館の退去時期の2~3カ月前に行ない、余裕を持って引っ越しの準備ができるようにした。なお、名古屋大学生協が留学生を対象とした引っ越し相談会を開催し、今後ワークショップとの連携について検討できると思われる。

#### 【世界の言語文化】

- ・ランゲージシャワーは年間で23回開催した。柴垣と学生スタッフが中心になって企画運営した。(次項の「交流プログラム」に詳しく記す)

- ・前期は、イスラム文化会主催企画「アラビア語初級講座」10回シリーズを共催、後期は同「初中級講座」10回を主催して行った。毎期、修了書を発行した。
- ・学生支援プログラムとイスラム文化会と共同主催して「アラビア書道」講座も昨年度に引き続いて、4回シリーズで開催した。



アラビア語講座ポスター      アラビア書道講座ポスター

- ・これまで2回協力または共催した「イスラム文化フェスティバル」を、今年度は留学生センターがオープンフォーラムとして主催した。ICANU(名古屋大学イスラム文化会)が会場設置や料理紹介を行い、学びの多いフォーラムとなった。(別稿「留学生センターオープンフォーラム」を参照)

#### (4) 交流プログラム

留学生センター相談室では、ワークショップ以外に、主に、学生パートナーシップ(教育交流部門により1998年4月開始)と、ランゲージシャワー(詳細は『名古屋大学国際交流グループ 2010年度活動報告書』(名古屋大学留学生相談室, 2011)を参照)の2つの交流プログラムをコーディネートしている。

パートナーシップは、国際交流を希望する学生の登録により、一般学生と留学生を1対1で紹介し自由に交流する「きっかけ」を提供するものであるが、1対1での交流以外に、登録者の時間とニーズに合った活動や交流が見つけれられるよう、また、一般学生同士、留学生同士でも新しい友人を見つけることができるよう、登録者に学内外の交流イベント、海外留学関係情報を提供している。

登録の際には、留学生センター相談室で簡単に面談し、彼らがどのような交流希望を持っているかを聞き、後のマッチングの参考としている。これまで、特に日本人学生においては、語学力向上を交流目的とす

る登録者が多く、留学生登録者の母語やコミュニケーション言語を考慮するとマッチングをすすめられないケースが多かった。このことから、ワークショップの世界の言語文化を学ぶプログラムの一つとして提供しているランゲージシャワーにより、パートナーシップ登録者の外国語でのコミュニケーションのニーズを楽しく満たせるよう、参加者を募ってきた。

2006年度から留学生センター所属生がチューター制度を利用できるようになり、パートナーシップ登録者からチューターを募集する機会も増えてきた。特に、パートナーシップ登録をする日本人学生は学部1、2年生の割合が多く、留学生の場合は大学院レベルの登録者が大半であったことから、パートナーのマッチングが難しいという問題があった。しかし工学部入学を目指す日韓プログラム生が、彼らと年齢の近いチューターを望むことが多かったため、パートナーシップ登録の学部1、2年生を紹介することができるようになったのである。

ランゲージシャワーについては、『2010年度名古屋大学国際交流グループ活動報告書』に詳細を記しているが、後期からは、パートナーシップ登録者でもあった留学生の協力により中国語グループもでき、英語・中国語グループで全20数回のセッションを実施した。プログラムへの参加リピーターが増え、内容も充実してきたのは、前年度から継続してこのプログラムの運営に携わった学生たちによるところが大きかった。グループとして本年度の留学生センター長顕彰を授与されたことは、学内全体でこの活動の貢献度の高さが認知された結果といえる。しかし、活動を支えてきた大半の学生はこの3月で卒業・修了を迎えた。プログラムのコーディネータとしては、次年度から活動に参加したいと申し出のあった学生たちとノウハウを継承しながら、プログラムとして持続可能な新たな活動の在り方を探っていくことになる。

### 3. 学生個別教育：相談

相談室での相談活動を「個別教育」と位置づけ、名古屋大学の留学生に限らず、在学生や他大学へ進学した学生、地域構成員などの相談にも可能な範囲で対応した。

#### (1) 相談時間

これまでと同様の相談時間確保(週7-8コマ分)

を目処とした。相談時間を掲示し、その他の時間でも在室中は適宜相談に対応した。電子メールでの連絡や伝言ボックスへの連絡は常時受けられるようにした。

## (2) 相談件数

留学生センター所属生については大きな問題が寄せられず、来室による個別相談件数は減少したと思われる。電子メールでの連絡が容易に行なえることに加えて、問題防止に役立つプログラムが充実して普段から学生たちと接する機会が増えていること、またチューターによる支援が強化され、さらにメンタル相談専門教員による相談対応について学生たちに周知されてきていることも影響していると思われる。

## (3) 特徴的な相談内容

様々な相談の詳細その背景については、相談者個人に関わることなのでここで報告することができないが、今年度の特徴として以下を報告し、今後の活動に活かしていきたい。

### ■ 勉学・研究

専門研究をする配属大学・研究科について、選択肢があるがために迷うケースが数件あった。専門分野の教員たちの協力を得ながら、本人の人生設計の中で進路を決定できるよう支援した。

日本語研修期間後に別の大学で専門研究をする学生の場合、行く先の様々な情報を必要としているため、相談室と事務室で協力して進学先大学との連絡調整を行った。

論文を投稿しても掲載に至らないことから、投稿の方法や内容、教員との関係などについて相談する学生が複数いた。大学や研究室独特の文化と関わる事項もあり、可能な範囲で助言・指導した。

### ■ 宿舎

大学の国際交流会館（インターナショナルレジデンス山手）が新築され、今年度の入学者の多くが宿舎についてこれまでより恵まれた環境を享受することができた。名古屋大学生協が留学生を対象とした引っ越し相談会を2月に初めて行ない、相談室も協力した。所属生たちは引っ越しの必要がなかったため利用しなかったが、他学部の学生たちが複数利用した。大学生協の取り組みとしての検討に、今後協力できることはしていきたい。民間宿舎問題についても大きな問題が

寄せられなかった。

### ■ 医療・健康・安全

新型インフルエンザは昨年ほどの流行はなく、マスクの流通不足も解消された。心身の不調をきたした学生や交通事故にあった学生は複数いたが、指導教員やメンタルヘルス専門教員の助力もあって大きな問題に至らず、幸いであった。

防災関係は今後も強化する必要がある、相談室としても関係プロジェクトに参加しつつ学生たちへの研修を継続して行なっていきたい。

### ■ 家族

家族を呼び寄せた人は数名あり、3月の震災とその後の放射能問題は特に小さい子どもを持つ学生にとっては深刻であった。また、在籍生の母国にいる家族・友人の震災に対する不安も大きく、家族からの要望に応じて一時帰国する学生も多くいた。

一方、家族を呼び寄せたくても、母国の日本国大使館で家族滞在ビザ申請が却下されるという例もあった。母国では当然共に暮らす家族であっても、留学生という身分での外国生活では、外交問題が介在してすることは避けられないのであろうが、当人たちにとっては精神的にも苦しい状況である。

### ■ 学生組織との連携

留学生を中心とした大学院生主催の国際・学際学会 FeedForth は、11月4日に、第5回目が開催された。今回は留学生センター相談室は、FeedForth を学生支援プログラム担当者に紹介したのみで、学会の企画運営はすべて学生たちが行なった。学生支援 GP の一環「名大版サイエンスカフェ」との連携発表も行なわれた。主催者が期待したような数の参加者が得られなかったが、日本人学生も含めた多国籍学生の研究発表・討論の機会となった。主催するには時間的にも経済的にも負担が大きいこのような学会の、今後のよりよい発展を見守りたい。

ICANU（名古屋大学イスラム文化会）とは、オープンフォーラムやアラビア語講座で協力した。金曜集会については、今年度からは国際交流会館インターナショナルレジデンス東山の会議室が1カ月ごとに予約できるようになったが、日々の礼拝場所の確保は未だ難しく、課題となっている。また、大学が特定の宗教

グループに対して場所を提供することについて、学内の法務室に相談する機会を得た。基本になる考え方は国立大学法人としての政教分離および日本社会の信仰の自由の保障であり、両方が尊重され守られるような環境を整えていくことが必要である。人々の生活の根源を成す信仰について、常に敬意を抱きながら環境整備を進めていきたい。

#### ■交流・研修

パートナーシップ、ワークショップ等の参加登録などで相談室を訪れる学生たちは多い。その機会に、交流や進路についての相談を受けることもある。「英語のネイティブ話者と友だちになりたい」という希望は多く、その理由としてネイティブ話者でなければ正しい英語が話せないとか、ネイティブ英語を学ばなければいけないというような思い込みがあるようである。ネイティブ話者が学内には非常に少ないこと、ネイティブ話者でなくても英語を使いこなして生活している学生たちが多くいること、ネイティブ英語にこだわらず外国語を積極的に使って活動していけることなどを伝えて、様々なプログラムを紹介し、参加を呼びかけている。

#### ■その他

指導教員に向けた『名古屋大学教員のための留学生受け入れハンドブック』（高等教育研究センター、2011年3月発行）編纂チームに、田中は7月から加わった。かねてから学内有志で活動していた「留学生研究会」に、産休に入る留学生相談室の高木准教授から引き継いで参加したものである。これまで留学生たちから受けた相談や、教員たちを対象に行われたアンケートを参考にしながら、指導教員にとっての課題や工夫点を検討した。12月16日に「教員として留学生にどう接するか - 授業や研究指導を通して」という題で研修会を行い（留学生研究会、高等教育センター、留学生センター協同主催）、その後ハンドブックを編集・印刷した。このハンドブックの活用によって、昨年度の年報にも記した「一般的なケースについて多くの教員たちと情報共有」（『紀要』名古屋大学留学生センター、2010, p. 91-92）する体制が実現できつつあると言える。なお「留学生研究会」は、今後も活動を続けることになっている。

#### 4. 学部・大学院教育：授業

ワークショップの項で記したように、留学生センター相談室が継続して企画運営してきた日本の伝統文化に関するワークショップを、今年度は一部学部1年生の基礎セミナーとして開講した。（本年報の「異文化交流実践を授業にフィードバック」報告を参照）また、田中は教養科目「留学生と日本」の浮葉准教授を代表とする教員チームに例年通り参加した。

大学院国際言語文化研究科の「異文化コミュニケーション論」の授業は8年目となり、田中が担当して多文化学生チームで授業を進めた。昨年度の受講生たちが中心となって、全学同窓会の助成金を得て、異文化コミュニケーションの事例検討論集を編纂、印刷した。（*Tasting Japanese Culture: Through Diverse Interpretations*, Edited by Yasmine S. Mostafa, Nagoya University, 2011）

#### 5. チューター調整・指導

留学生センター所属の学生たちのチューター支援について、調整・指導を担当し、チューター募集、組み合わせ、オリエンテーション、書類請求などの業務を行った。留学生センターでのチューター制度実施は5年目となり、在学生たちへの認知度も高くなって能力の高いチューターが集ってくるようになった。

留学生センター所属生のうち、他大学進学予定者、教員研修生、日本語・日本文化研修生の渡日時の空港出迎えに関しては、出迎え希望があった学生にのみ、チューター支援の一環として、在籍生が出迎え支援した。

昼食時間の懇談会は今年度は行わなかったが、教育学研究科の留学生専門教育教員である渡部留美講師が中心に作成した『名古屋大学チューターハンドブック』（名古屋大学国際交流協力推進本部、2010年11月発行）編纂チームに田中が加わり、これまでのチューター活動から明らかにされた課題や工夫を、チューター全体で共有できるようにした。懇談会を開催しても多くのチューターが同じ時間に集まるのが困難だったが、このハンドブックによって知識や経験の共有が可能になった。

## 6. 地域連携講演・文化交流

名古屋大学が位置する千種区の警察署には、従来様々な形で学生たちへの安全指導に協力してもらっており、今年度も昨年度に続いて防犯についてのセミナーを行なった。特に新入生が、日本の安全神話を過度に信じることはないよう、これまでの経験も参考にしながら指導している。また学生集会などが、他人によって思わぬ方向に利用されることなく行なえるよう、学生グループとも協力している。2009年1月から田中は委員として警察協議会に出席し、地域・市民安全の視点から警察に意見を伝えている。

伝統ある地域行事において、参加した留学生が主催者の指示とは別の行動をとったことで、受け入れ側の人々にご迷惑をかけるということがあった。学生から事情を聞いて、関係者に詫言を提出することになった。学生が行事の趣旨などを十分に理解していなかったことや、コミュニケーションの中で誤解も生じていたことなどがわかり、学生はたいへん反省していたが、相談員にとっても学ぶところが大きいできごとであった。

天白生涯学習センターの、偏見や差別をなくすための講座に、田中は留学生と共に協力した。学生の日本での経験やそれについての意見に、異文化コミュニケーションや多文化理解の視点を入れて解釈するという有意義な講義を、共同で組み立てることができた。

## 7. センター内委員会

- ・安全防災部会：今年度も総長裁量経費を受け、環境学研究科および国際交流協力推進本部の教員と共同で、留学生のための研修開発プロジェクトに取り組んだ。学期に一回行う防災セミナーを継続すると共に、昨年度作成した名古屋市港防災センターの見学ガイドと音声ガイドを利用して、同センターでの研修を2回行った（本年報「事業報告」を参照）。また、施錠等の見回りのアルバイト学生の指導・連絡は、これまでPC管理委員会の仕事として行ってきたが、今年度からは安全防災委員会の担当になり、引き続き相談室で担当した。アルバイト学生と連絡をとりながら、夜10時まで使用されている建物とPC室の安全と環境整備に努めた。
- ・留学生ハンドブック改訂：今年度の改訂は、田中・

柴垣がとりまとめ役となって、学内関係者と協力しながら行なった。

- ・国際交流グループ報告書作成とりまとめ：学生ボランティアグループが昨年度から作成している報告書作成のとりまとめを、今年度は高木准教授から引き継いで柴垣が中心に行なった。

## 8. 学内委員会

名古屋大学が運営する「こすもす保育園」の運営協議会議長の任期を終え、今年度は田中は一委員となった。留学生の子どもの保育についてかねてから課題になっているため、男女共同参画推進専門委員の立場から関わっていくことになった。ハラスメント防止対策関係の委員としても、留学生相談業務で培った知識や経験を活かすように努めた。

## 9. おわりに

2008年度に日本政府により打ち出された「留学生30万人計画」進行最中の今年度3月に東日本大震災が起こった。亡くなった人々の冥福を祈ると共に、被災者・被災地域の復興を願う日々である。

地震後、元留学生たちからいち早く、安否確認や見舞い、協力申し出の連絡があった。その中には10年、20年前に留学した学生たちも含まれている。留学経験が長期にわたって彼らに影響を与えていることを実感した。

現在日本に留学している学生たちからも「今すぐ被災地に行きたいが、自分の日本語力で役に立てるだろうか」「物資を送るにはどうしたらよいか」などの問い合わせが相次いだ。ICANU（名古屋大学イスラム文化会）も、震災後すぐの金曜礼拝時に募金を行い、貴重な義捐金を大学経由で被災地に届けた。家族がどうしても心配するので一時帰国したものの、反対を押し切って再び日本に戻った学生たちもいた。留学していることで、日本や人々への信頼が強く心に刻まれている様子がよくわかった。

個人的な経験の中でも、田中は1985年のメキシコ大地震の時に被災地に暮らしており。多くの建物が倒壊した中、市民が協力してボランティア活動する様子を目の当たりにした。自分も微力ながら復興の活動に参加し、国や人々への思いはより強いものになった。

現在日本で勉強している留学生たちにとっても、留学先で「未曾有」とも言われるできごとを経験していることは、後々まで大きな意味を持つであろう。日本

が戦後の復興と発展によって世界から注目されたように、今回の震災やそこから派生する様々な問題も、国際的な協力体制の中で解決の方向に向かい、その復興

添付資料 1

**2010 Spring  
Feel the World  
ECIS WORKSHOP**

Through discussions and exercises on cultural or practical issues, participants with different cultural backgrounds will obtain wider views and experiences. Voluntary lecturers and professionals in the respective field will conduct some sessions.  
**Registration: You can register two weeks before each session.**

**Language:  
English and Japanese  
(Translation by a volunteer student)**

**Enjoy Japanese Culture**

- **Ka-do (Flower Arrangement)**  
by Prof. OKADA Kakei, Hachidai-ryu School  
14:45-16:15 (Tuesdays),  
April 20, May 18, June 15 and July 20  
at #201, ECIS/CALE Bldg.
- **Buyo(Japanese Classical Dance)**  
by Prof. ZUJIOU Toyoe, Zuihou-ryu  
May 29(Sat.), 16:30-18:00  
at CALE Forum, ECIS/CALE Bldg.
- **Kimono (Japanese Traditional Costume)**  
by Prof. KATO Kaisuko, Koma Kimono School  
June 17(Thur.), 16:30-18:00  
at CALE Forum, ECIS/CALE Bldg.
- **Sho-do(Japanese Calligraphy)**  
by Prof. FUJII Naomi, Fujii Sho-do School  
July 1(Thur.), 16:30-18:00  
at CALE Forum, ECIS/CALE Bldg.

**Life in Japan**

- **Seminar on Earthquake Preparation & Damage Reduction**  
Instructed by  
Prof. YAMAOKA Koshun,  
Res. Center for Seismology,  
Volcanology and Disaster  
Mitigation, NU  
June 22(Tue.), 14:45-16:15  
at CALE Forum, ECIS/CALE Bldg.

**Feel the World (Develop language and communication skills)**

- **Arabic Calligraphy** Co-organized by I/CANU  
10 sessions from April 23 to July 3, 17:00-18:30 (Fridays)
- **Language Shower**  
Speak, listen, or discuss in foreign languages, without worries about making mistakes!  
from May to July

For further information [www.ecis.nagoya-u.ac.jp/en/exchange/workshop.html](http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/en/exchange/workshop.html)  
Registration and Contact [adv@ecis.nagoya-u.ac.jp](mailto:adv@ecis.nagoya-u.ac.jp) (Tanaka/Fumi)  
ECIS Advisors' Office (#204), 2<sup>nd</sup> floor of Education Center for International Students, NU

**2010 年春  
「世界を感じよう」  
留学生センターワークショップ**

文化や生活について講義や実技を通して意見交換しながら共に学びましょう。各分野専門のボランティア講師が講義・実演をしてください。

(参加希望者は、各セッションの2週間前から登録できます。)

使用言語：英語と日本語  
(どちらか一方は、学生による通訳)

**日本文化を味わおう**

- **華道** 華道八代流教授 岡田佳穂先生  
★14:45-16:15 (火曜日)  
4月20日、5月18日、6月15日、7月20日  
留学生センター/CALE 棟 201 教室
- **日本舞踊** 瑞風流 瑞風とよ絵先生  
5月29日(土) 16:30-18:00  
留学生センター/CALE 棟 CALE フォーラム
- **着物(日本の伝統衣装)**  
駒室もの学院 加藤かつ子先生  
6月17日(木) 16:30-18:00  
留学生センター/CALE 棟 CALE フォーラム
- **書道** 藤井善通教室 藤井直美先生  
7月1日(木) 16:30-18:00  
留学生センター/CALE 棟 CALE フォーラム

**日本での生活**

- **地震防災研修会**  
指導:名古屋大学研究科  
山岡耕善教授  
6月22日(水) 14:45-16:15  
留学生センター/CALE 棟  
CALE フォーラム

**世界を感じよう (言語とコミュニケーション能力の向上)**

- **アラビア語講座** (名古屋大学イスラム文化会と共催)  
★4月23日～7月9日の計10回、17:00-18:30(毎週日、留学生センター/CALE 棟 201 室)
- **ランゲージ・シャワー**  
開講日を恐れずに、外語で話して、聞いて、ディスカッションを楽しもう!  
★5月～7月開催予定 留学生センター/CALE 棟内

詳細はウェブサイトへ  
[www.ecis.nagoya-u.ac.jp/exchange/workshop.html](http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/exchange/workshop.html)  
参加申し込み・問合せ先:  
[adv@ecis.nagoya-u.ac.jp](mailto:adv@ecis.nagoya-u.ac.jp) (田中/56)名古屋大学留学生センター相談室(204)

の力が後世に受け継がれていくよう願っている。教育交流の任務の中でも、できることを進めていきたいと思う。

添付資料 2

2010 Autumn  
Bridges to Japan & the World  
●●●●● ECIS WORKSHOP ●●●●●  
Let's learn languages & cultures of Japan and the world  
in a multicultural context.

Through discussions and exercises, participants with diverse cultural backgrounds will obtain wider views and experiences. Voluntary lecturers and professionals in the respective field will conduct the sessions.

**Enjoy Japanese Culture**

- **Ka-do (Flower Arrangement)**  
Instructed by Prof. OKADA Kahei,  
Hachidai-ryu School  
★14.45-16:15 (Tuesdays),  
Oct.19, Nov.16/19(Fri), Dec. 21, Jan. 18  
at #201, ECIS/CALE Bldg  
\*Special exhibition on Nov. 16 & 19 in a  
different scheme
- **And More**  
*Kimono, Buto (dance), Sho-do*  
(Calligraphy), etc.

**Feel the World**  
Develop language and communication skills

- **Language Shower**  
Speak, listen, and discuss in foreign languages!  
★October 21 (Thu) - tentative  
& more sessions
- **Arabic Course Pre-intermediate level**  
Co-organized by ICANJ/ Islamic Culture  
Association of Nagoya University  
★Thursdays 17:00-18:30  
Oct.28 - Jan. 20 (10 sessions)  
at #206S, ECIS/CALE Bldg.

**Life in Japan**

- **Safety in Japan**  
Instructed by Chikusa Police  
★Oct.19 (Tue) 14:45-16:15  
at CALE Forum, ECIS/CALE  
Bldg.
- **Earthquake**  
**Preparation & Damage Reduction**  
Instructed by  
Prof. YAMAOKA Koshun,  
Graduate School of Environmental  
Studies, NU  
★Nov. 18 (Thu) 14:45-16:15  
at CALE Forum, ECIS/CALE  
Bldg.
- **Moving**  
How to find an accommodation  
★Dec.14 (Tue) 14:45-16:15  
at ECIS/CALE Bldg.

**Language: English and Japanese**  
(Translation by a volunteer student)

**For further information**  
[www.ecis.nagoya-u.ac.jp/en/exchange/workshop.html](http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/en/exchange/workshop.html)  
Registration for participation: [adv@ecis.nagoya-u.ac.jp](mailto:adv@ecis.nagoya-u.ac.jp) (Tanaka/Fumi)  
ECIS Advisors' Office (#204, 2<sup>nd</sup> floor of Education Center for International Students, NU)

2010 年秋  
Bridges to Japan & the World  
●●●●● 留学生センターワークショップ ●●●●●

日本と世界の言語文化を多様な視点から学びます  
日本と世界の言語や文化について、話し合いや実習を通していろいろな文化圏の人々と共に学びましょう。各分野の専門家講師が講義・実演をしてください。

使用言語：英語・日本語  
(必要に応じて学生が通訳します)

**日本文化を味わおう**

- **華道** 華道八代流教授 岡田佳穂先生  
★14:45-16:15 (火曜日)  
10月19日、11月16日/19日 (金) \*  
12月21日、1月18日  
留学生センター/CALE棟 201教室にて  
\*11月16・19日は特別展示のため  
場所・時間が変わります。
- **着物(日本の伝統衣装)、日本舞踊、書道、折り紙など**

**日本での生活**

- **日本の生活を安全に!**  
指導：千種警察署  
★10月19日 (火) 14:45-16:15  
留学生センター/CALE棟CALE7号机
- **地震に備えよう!**  
指導：名古屋大学防災研究所 山岡耕春教授  
★1月18日 (木) 14:45-16:15  
留学生センター/CALE棟CALE7号机
- **引越し**  
-新しい住居の探し方-  
★12月14日(火) 14:45-16:15  
留学生センターにて

**世界を感じよう**  
言語とコミュニケーション能力の向上

- **ランゲージ・シャワー**  
間違いを恐れずに、外国語で話し、聞き、テキストセッションしてみよう。  
★10月21日(木)～(複数回開催予定)
- **アラビア語初級講座**  
(名古屋大学イスラム文化会共催)  
★10月28日～1月20日  
木曜日10回 17:00-18:30  
留学生センター206S

**詳細はウェブサイトへ**  
[www.ecis.nagoya-u.ac.jp/exchange/workshop.html](http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/exchange/workshop.html)  
参加申し込み・問い合わせ:  
[adv@ecis.nagoya-u.ac.jp](mailto:adv@ecis.nagoya-u.ac.jp) (田中/ふみ)名古屋大学留学生センター相談室(204)